

# 日伯新聞

本紙定價  
半ヶ月十ミル  
春年拾八ミル

カイシヤ三七五

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

最近全會社に於て使用しつゝある貨物及び畜産運般用の汽罐車の數は五百以上に達したるが舊麗州政府と契約の下に白耳義一會社に各百二十噸の索引力を有する汽罐車十臺を註問し内四臺は既に去る二月より運轉中に於からず運轉さる、模様である、今同會社の一理事が語る所に依ると全鐵道の運輸狀態は目下頗る圓滑にして最遠距離に位するチバデイ驛に於てすら貨物の堆積さるゝが如き事更になく、全線中最も貨物の輻輳すと稱せらるゝサントグランデ驛より迄市迄十日以上以て要せず、尙運輸能力の如何に大なるかはかの忽ち貨車の缺亡を來たる珈琲運般期に非ざる正月二月の兩月に於て収益の約千六百コントスに上り前年の同期に比して遙かに凌駕するの盛況に微しても分明でらうと云々

日常必需品が天井知らずの騰貴にて細民の困難一方ならぬ所から中央政府でも棄てゝはおけず先頭來之が調節策として牛肉牛乳魚肉其他の連貨車輕減並に小賣所の急設を行ひたる爲め肉類の如きは直ちに二三百レースの下落となり牛乳は去二十七日以來公設市場で一リットル六百レースで販賣を開始したる所押すな押すなのが盛況にて忽ちの内に賣盡したりとるに中央政府の施設は肝心の暴利商人に及ばず未だ暴利令の設定を見ること無されば日用品の一部が一時下落することあるも大勢に影響する所少かるべしと尚サンパウロ市にては今日に至る迄市當局は本問題に就いて沈黙を守り居るの外何等の施設を行はず僅かにガゼタ紙外二三が之を行へるあるのみ

左の通り	齊藤不和	春日不廓明
天満不隆行	嶺昌	
五反田不貴巳		
野田不良治		
上塚不周平	土屋不久司	
杉山不英雄	山田不揚之助	
渡邊不孝	黒石不清作	
富安不護義	伊藤不硬一	
山田不隆治	山根不寛一	
大野不基尚	藤田不克巳	
笠田不正數	阪井田不善喜	
栗津不金六	石橋不恒四郎	
小島不要		

カサオカシマ	福島縣	長澤四郎
Caixa Postal 1	沖繩縣	上池カナ
Est. C.Cezar orod 4caana	全	平良カマ
	全	坂本倉太
	全	剛 淀生野
	宮原ツヤ	
右關係者は至急現住所通知ありたし 本船は四月四日「サントス」入港	日本各種 食料品 種子物 岡嶋商店	委託販賣 農產物 ベビーダス

**廣告**

新着種物

聖護院大根 練馬大根 各一袋一ミル  
送料一キロ迄 レボーリヨ、セボーラ種

時無大根 白菜 捏子菜 朝鮮白菜

山東白菜

ホシ家庭藥を御備へ下さるの  
期が参りました 小兒藥専門  
血ノ道 下劑 胃腸藥の各  
大震災實況寫真帖 癒慘なる紀念

日本酒ふくむすめ  
右少々着荷致しました品切れ  
なとの内御用命下さい

噴霧器ヴエルデバリスの取次

貸本も致します

T. YEND( 遠藤商店  
Rua Conde de Sarzedas 2  
S. Paulo

# OPTIMA TERRA

ソロカバーナ線ブレジデンテウエンセスラウ驛  
カイウア驛ブレジデンテエビタシオ隣に跨る五  
万アルケレスはリオ市メンデスカムボス商會の  
所有地で其内カイウア驛附近二千アルケレス  
を限り日本人諸君に提供します

二十アルケレスを一區ごし日本人には特に  
アルケレス以上なら區賣却しまよ價額は距  
離の遠近に依つて高下あり停車場より五百メー  
トル以上は一アルケル二百ミル乃至三百ミル  
ですから早いが勝です

支拂方法は四ヶ年々賦さし入殖申込と同時に  
四分の一を拂ひ込めば直に地券を渡します殘額  
は毎年一回取穫後ごし全額一時拂に對しては一  
割五分を割引ます

市街地として設定せられたる地區は間口二十奥  
行四十米突を一區ごし毎區二百五十ミルにて賣  
却します

尙詳細は下記事務所に就いて御尋ね下さし  
迄の片道汽車切符を差上ます

聖市ルアショオンブリコーラ拾二番三階二號室

岸本泰イシエイラ商會

電話セントラール六一四八

追而手紙にて御照會の節は左記宛に願ひます

Kishimoto Teixeira & Co. C.P. H 24 S. Paulista

Presidente Wenceslau L. Sorocabana

出張所

● 移民法案成行  
國務卿ヒューズ氏の勧告に依り其一部を修正せられたる上院議員ジョンソン氏提出の移民法案は下院法務委員会を通過せり（華府電報）

● 勞農首領動靜  
勞農政府首領リコーフ氏は目下伯林に滞在中なるが氏は何等政事的意味を帶びず唯健康免角勝れざる爲め名醫の診斷を乞ふに過ぎず（柏林電報）

● 新嘉坡海軍根據地に屬領  
英國政府は新嘉坡海軍根據地建設の件に付其屬領の意見を徵したるが之に對して南亞加奈太を除くの外は悉く贊意を表したり（倫敦電報）

● 第二皇子世界御漫遊  
第二皇子秩父宮雍仁親王陛下は軍事研究の思召を以て世界漫遊の御企圖あらせらる（東京電報）

● 北米海軍豫算  
一億七千二百万弗の本年度海軍豫算是下院に於て可決されたり（華府電報）

● 露支國交危機迫る  
モスコーカ來電としてリガ電報の傳ふる所に依れば露支國交は今や危機に頻し勞農政府はキケルスク及びウスリスク地方に軍隊を召集して戰闘の準備怠りなく數多の列車は間断なくチタ方面に糧食を運搬しつゝあり（倫敦電報）

● 全上別報  
北京來電に依れば北京政府はウエリントン・クー氏を露支再交渉の支那代表に任命せり（全上）

● 德福丸沈没  
全船は英國ケント沖を航行中濃霧に襲はれ止むなく獨船ハインダル號と繫船せんとするや忽ち衝突沈没せり但しハ號の損傷は輕微なり尙別報によれば海員十五名は收容せられた

右者本社ご何等關係無 之候	和田正一	友人	大坂朝日新聞社 大正十三年三月二十八日
山根榮次郎	夫	山根孝太郎	青木孝太郎
谷吉右衛門	高橋光雄	瀧澤仁三郎	沖田左衛門
喜壽内	米田喜壽	内田重左衛門	南眞之助
松村兼治	二宮尊一	上地彌藏	中村吉光
濟藤義一	永熊太郎	古野勝二郎	菊地岩太郎
堤平治郎	田野謙治	中川復治	吉三郎

BANCO NOROESTE DO EST. DE S. PAULO  
横濱正金銀行ノロエステ線總代理店

---

鄉里送金 正金リオ支店所定の建相場により御取扱申候  
預金及貸出 其他一般銀行業務取扱

本 店 Rua da Boa Vista, 24 S. Paulo  
支 店 Lins, Pirajuhy, Pennapolis, Presidente-  
Alves e Araçatuba

電信略號 OICED

◆當社貸付移殖民諸君に謹告◆

一、爲替相場が非常によくなりました。御入金なさるのは今の内です。

一、御返済成績不良又は居所不明其他返済の誠意なしと認めらる、向は御氣の毒乍ら本國保証人から申受けます。

一、左記諸君の現住所御一報を得たし

脇田製吉

堂園武態

高尾忠左衛門

佐藤庄藏

飯田吉三郎

横山龟一

熊井正人

河野小三郎

白土正義

大正十三年三月

海外興業株式會社、伯國支店

Kaigai Kogyo Kaisha

Caixa 1082 S. Paulo

內外雜俎

最 近 電 視

政府筋の発表で實際値段とは多少開きがあるが大体左の價格で賣買され  
る(單立一ヘクタール)

老妻ミニ子様産後病氣の處(市サ  
タカタリナ病院)入院中醫藥其  
の効なく去る二十五日午後八時遂

金言

當社貸付移殖民諸君に講告  
一、爲替相場が非常によくなりました。御入金なさるのは今の内です  
一、御返済成績不良又は居所不明其他返済の誠意なしと認めらる、向は御氣の毒  
乍ら本國保証人から申受けます  
一、左記諸君の現住所御一報を得たし  
脇田製吉 堂園武憲  
坂口吉三郎 高尾忠左衛門  
黃山一



旅人雜筆

●其三●

在米國 青海川龍一

旅といひ、また旅人といふ。それは、人といひ、また人生といふが如くである。しかしながら、太平洋の偉大を見わたせは、いづれも人ならぬはない。人生は水か如くである。太平洋も水下ある、道路の雨も水である。科學者はこれをH.2.Oと名づけた。しかしながら、太平洋の偉大を却ることは何人の力にも及ばない。此世に於て偉大なるものは眞實でなければならぬ。

眞實なる人の姿は、ただ眞實なる自然の前に於て本當のかがやきを持つ。○

愛は論理ではない。キリストは「道徳」を説いたのではない。愛は實在である。キリストは「眞實」を語つたのである。これは「眞實」の人でなくては出来ない、神壇に祈り十字架に跪く前に沈黙を仰いで合掌する心がなければ、愛を説くことは空である。○

眞實の人が眞實の愛を語るとき、それは水澄める湖畔であつた。或は殿堂ではなかつた。断じて金碧の殿堂ではなかつた。○

眞實を知らざる慢偽善のバシリサイの徒は彼をさまよへるものとして嘲つだかも知れない。自然を知らず、人生を知らず、愛を知らず、眞實を知らざる慢偽善のバシリサイの徒は。○

偉大なる旅人の心は、さながらに哲人の心である。然も、哲人の歎をもつて悟るよりは、旅人の心に觸れて我と我が心をし震す。旅人の心に觸れて我と我が心を震す。旅人の心に觸れて我と我が心を震す。旅人の心に觸れて我と我が心を震す。○

疲れ果てた馬場白浪のなれのほて。疲れ果てた馬場白浪のなれのほて。○

旅をするならば、かうした旅人の心に觸れたいと思ふ。

この貪弱者の頭に、今少年時代から青年時代への追憶が止めどなく

も知れない。併し總ては解放の秋でも知れない。併し總ては解放の秋でも知れない。併し總ては解放の秋でも知れない。○

ひらめしては去る。然しその樂しき事ではない。せめて、歐羅巴か

風雨寒暑に耐へて喫く強烈にして白

い花でありたい願望は私を驅か

ひつわ若い紅い血に燃えた時は過

つてこれが撃攻に向はせたのである

私は今茲にニヒリズムとは斯くある

何故に、日本の言葉が變しい。そ

れは異國の言葉の不自由さからだ。

藝術は苦悶の象徴である。文化は境

遇の戰である。アメリカへ来て、

こさらには、アメリカらしいことが

言ひたくなつた。

私は美濃の國の關といふ町で、惟

然の墓を見た。惟然の自畫と讀み見

たの、惟然の墓は笠石の上に苔が生え

てゐた。惟然の自畫は笠をかむつた

漂浪者が雪道を歩いてゐる辛うじ

てゐた。惟然は忘れたが何とかの『雪拂

』へども拂へども』さわつた様に思ふ

それにつして庵の老人が語るには、

惟然ある時深然と京都なるその姉の

家を訪れた。雪の日に笠を傾けて姉

の門を叩くことが詩であつたのだ。

惜むらくは姉は詩を解せず、人情さ

へも解しかつた。物乞ひと似た惟

然の姿を見て夫に恥てか留守と稱し

て會はなかつた。(所詮女は斯うし

たものである。惟然は世にもさび

ふ、相遇ふのも何かの縁に違ひない

のも相思のものかの縁に違ひない

悲しさだ。抛てるものか。然し例令

抛たうが抛つまいが天地は悠々とし

て轉じ人生は日月と共に逝いてしも

悲しさだ。抛てるものか。然し例令

抛たうが抛つまいが天地は悠々とし



